

生活創造空間

にし

NISHI  
～アンラシネを目指します～

特別号 2016年9月15日発行

みんなが主役のまちづくり

学齢期の子どもの「今」

～大人が知ることからはじめよう～

8月30日（火）に実施しました！

映画「みんなの学校」を上映してから2カ月…。映画を見た後の気持ちが冷めないうちにみんなと一緒に考える『場』を共有したいと思い企画しました。当日は幅広い年代の方々57名が参加し、小学生・中学生・高校生、学齢期の多感な子どもたちに今、何が起きているのか？現場で実践している方々からお話を聞き、みんなで深

める時間を持ちました。参加者の方からも様々な質問・意見が飛び交う充実した時間となりました。

教育の立場から、元帝京科学大学教授・滝坂信一さん、西区内の様々な実践者、阿部伸一さん（不登校支援）・伊藤美紀さん（居場所の実践者）・渡辺幹夫さん（障がい児者支援）がそれぞれの立場でざっくばらんにお話いただき、実行委員でもあるコーディネーター・山田美智子さん（NPO法人はぐっと）にまとめていただきました。話を聞いての皆さんからの生の声、ちょっとお届けします。

- ・ 「教育力」とは何なのかなあ…。親が子供を見る時間？しつける力？共働きが当たり前になった中で「教育力」「教育時間」が持てないのは親のせいでもない。失われた「教育力」が地域で支えられたらよいのかな。そのための連携の必要性を感じる。
- ・ 今日はありがとうございました。今の学校の現状を伺えたことはとても参考になりました。学校に頼ってばかりではいけない、先生たちも本当は自由にやりたいなど、世の中がもっとのびのびとできたらよいのにと思いました。でも西区でこのような会ができたこと、とてもうれしく思います。地域と連携して、是非一歩踏み込んでいきたいと思えます。皆様本当にありがとうございました。
- ・ 色々考える所の多い研修会でした。今の子ども状況というときに、学校・家庭・地域というところはどこにも当てはまらないのかなあと感じてしまいます。ただ、今日の、「大人の示す道」の話にヒントを感じました。直接はすぐには関われないとしても、社会の一部として、大人は子どもの環境に影響を与えるのでは、そんないろんな道の1つを示す大人になりたいと思いました。
- ・ 今回、「不登校」の話題が出ていましたが、どのような不登校の方がいるのか（きっかけなど）、支援の仕方など、もう少しお話を伺ってみたいと思いました。あと、少しずれてしまうかもしれませんが、（大人の）「引きこもり」も増えていると聞きます。不登校と似て否なるものですが、お話・問題点など聞いてみたいです。
- ・ 学校の先生方の「生の声」を是非伺いたいと思えます。顔出しは難しい？先生も苦しかったり、悩んでいたりと、やっぱり見ているところが違ったり…。いろいろあるんだと思えます。そんな先生の正直な気持ちや映画の感想を聞いてみたいです。
- ・ 「みんなの学校」の上映が一般の人々にも広く見るチャンスあると良いと思えます。

これからも「みんなの学校」上映実行委員会は発信し続けていきます。今年度、ひよっとしたら新たな企画、考えるかも…。

また、皆様に逢える日を楽しみにしています！！

～「みんなの学校」上映委員会一同～



ちょうよう せ っ く しょくどう ほうこく  
**重陽の節供(みんなの食堂)報告**

おもいでのアラマ

ねん がつ か きん  
 2016年9月9日 (金) 16:30~19:00



おくしょう さんか  
 屋上のひまわりも参加

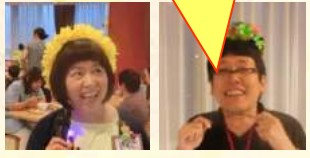


おもちゃのはこ&  
 ショコラッティコンサート



たの じかん  
 楽しい時間を  
 ありがとうございました。  
 きくこ&きくお

長寿や家の繁栄を願う節供が重陽の節供です。菊の花は不老長寿の薬草とされていたので、菊の節供とも言われています。そこで、みんなの食堂地域のみなさんが元気に過ごされることを願い菊の飾りをあしらってみました！  
 今回は約100人のみなさんにお越しいただきました。障がいのある方用にと準備したペースト食が離乳食代わりになったり、意外な発見もあり！みんなで食事をすればこその大発見だと思いました。次回は2017年1月7日(土)です！



生活創造空間にし URL : <http://www.souzoukuukannishi.org>

【発行・印刷】生活 創造 空間 にし広報委員会 〒220-0055 横浜市西区浜松町 14-40

☎ 045-250-6506 (ガッツ・ビーと西) ☎ 045-250-6470 (エヌ・クラブ)